

沖縄県振興審議会 第4回福祉保健部会【議事要旨】

1 日 時 令和元年10月30日(水) 13:30~15:12

2 場 所 沖縄県庁 6階 第2特別会議室

【議題：第1～3回福祉保健部会における審議結果について】

仲座委員並びに宮城専門委員より、学校に通う医療的ケア児への支援については、看護師が配置されている小中学校が少ない中、人材確保の難しさや不安定な労働条件、医療的ケアに対する看護師の不安解消、看護提供体制の未構築など多くの課題があるため、現状調査をしっかりと行い、普通学校に通える子どもたちをどのように支援できるか考えてほしいとの意見があった。

【議題：健康づくり】

仲座委員より、意見書にて、看護職の求人・求職に大きな役割を果たしている沖縄県ナースセンターについて追記してほしいとの意見があった。

大城専門委員より、介護認定を受けていない高齢者の割合の減少要因、介護の重度化防止の位置づけについて意見があった。

安里部会長より、意見書にて、本県では65歳未満の死亡率改善を図ることが喫緊の課題であるため、特定健診受診率向上に向けた環境整備、啓発活動、人材育成等を図ることが重要であるとの意見があった。

大城専門委員より、リハビリテーション専門職の派遣に係る県の支援状況について意見があった。

【議題：医療・福祉分野の人材育成】

仲座委員より、意見書にて、看護師の特定行為研修を追記してほしいとの意見、看護研修センターについて修文してほしいとの意見があった。

大城専門委員より、介護支援専門員の養成数については目標値を達成している現状の中、実際に現場で人材が確保できているか課題があるため、本文に記載してほしいとの意見があった。

湧川副部会長より、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程について、全体で4

階層あるうち今年度は2階層のみ実施しているが、全4階層を導入してほしいとの意見があった。

【議題：離島における医療・福祉サービスの提供】

亀谷委員並びに仲座委員より、離島を支える多様な人材の育成について、本島で行う薬剤師等の研修等を遠隔で受講できるよう支援する必要があるか、また、AIやICTの活用をもっと考えていくべきではないかとの意見があった。

大城専門委員より、離島における介護支援専門員の法定研修について、早急な対策が必要となっているとの記載があるが、具体的な対応策を例示してはどうかとの意見があった。

亀谷委員より、薬剤師数の指標は沖縄県全体の平均を使っているが、地域差があるため、離島の人材確保の部分で少し詳しく地方の数字も挙げて記載してほしいとの意見があった。

宮城専門委員より、離島では、医療や薬学が常に進歩する中、全てのことができる人材が求められるため、離島においても不安なく仕事ができる支援体制づくりを追加した方がよいとの意見があった。

【議題：子ども・若者の育成支援】

安里部会長より、意見書にて、働く女性が子育てしやすい環境を作るためにも、一定規模以上の民間企業には保育施設の設置を要請できるようにならないか検討してほしいとの意見があった。

小那覇専門委員より、登校復帰率は改善しているが不登校率は逆に増加しており、成果が少しわかりづらいため、少し説明があった方がよいのではないかと、また、結果を追うか追わないかの問題ではなく、数値を把握した上で、きちんとした対策が必要ではないかとの意見があった。

【議題：総合部会から各部会への申し送り事項】

宮城専門委員より、成果指標の達成状況について、マイナスになった場合も50%未満の「進展遅れ」の区分となるのか、悪化と進展遅れは区別した方がよいのではないかとの意見があった。

湧川副部長より、成果指標の達成状況について、「進展遅れ」等の言葉での表現は分かりづらいため、評価区分の根拠となる数値を何%と記載できないか検討してほしいとの意見があった。